

指導教員		学 年	第1学年 全クラス
教 科	国語科	科 目	現代の国語
単 位 数	2	使用教科書等	現代の国語（大修館書店）
授業の目標	○話すこと・聞くこと ・目的や場に応じて適切な話題を決める ・情報を収集・整理し、伝え合う内容を検討する ・話し言葉の特徴をふまえて的確に話す ・自分の立場や考えを明確にして話す ・相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫する ・展開を予想しながら聞き、聞き取ったことを整理して自分の考えを深める ・話し合いの目的によって、表現や進行を工夫する ○書くこと ・目的や場に応じて適切な話題を決める ・情報の妥当性・信頼性を吟味し、伝えることを明確にする ・情報が的確に伝わるように説明のしかたを工夫する ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開や構成を工夫する ・文体や語句などの表現のしかたを工夫する ・目的や意図に沿うように、自分の文章を整える ○読むこと ・内容や構成、論理の展開などについて、的確に捉える ・文章の要旨・要点を把握する ・情報を相互に関連付けながら、内容を解釈する ・解釈や評価をとおして、自分の考えを深める		
前期中間 授業進度	第 1 回 オリエンテーション ＊タブレットP C使用 ○明日をひらく ・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる ・相手や目的に応じた語句や文体の使い方を身につける 第 2 回 森田真生「白紙」① 第 3 回 森田真生「白紙」② 第 4 回 森田真生「白紙」③ 第 5 回 森田真生「白紙」④ ○的確に伝える ・目的や場面に応じて的確にわかりやすく伝える ・話し言葉、書き言葉の違いを意識する 第 6 回 藤沢晃治「設計図を最初に渡せ」 第 7 回 伝わるように話す① ＊タブレットP C使用 第 8 回 伝わるように話す② ＊タブレットP C使用 第 9 回 伝わるように話す③ ＊タブレットP C使用 第10回 伝わるように話す④ ＊タブレットP C使用 第11回 わかりやすく書く① ＊タブレットP C使用		

	第 1 2 回 わかりやすく書く② *タブレット P C 使用 中間試験（第 1 回～第 1 2 回と野矢茂樹「考える技術」を試験範囲とする）
前期期末 授業進度	○要点をつかむ ・叙述を的確にとらえ、文章の要点をつかむ ・具体と抽象の関係を理解する 第 1 回 文章の要点をつかむ *タブレット P C 使用 第 2 回 山崎正和「水の東西」① 第 3 回 山崎正和「水の東西」② 第 4 回 山崎正和「水の東西」③ 第 5 回 山崎正和「水の東西」④ ○論理をとらえる ・主張と根拠、理由付けの関係をとらえる ・演繹、帰納に着目して、文章の論理をとらえる 第 6 回 福岡伸一「動的平衡としての生物多様性」① 第 7 回 福岡伸一「動的平衡としての生物多様性」② 第 8 回 福岡伸一「動的平衡としての生物多様性」③ 第 9 回 福岡伸一「動的平衡としての生物多様性」④ 第 1 0 回 福岡伸一「動的平衡としての生物多様性」⑤ 第 1 1 回 福岡伸一「動的平衡としての生物多様性」⑥ ○意見を示す ・自分の考えを整理したり広げたりする ・根拠を明確にして、自分の意見を示す 第 1 2 回 発想を広げる① *タブレット P C 使用 第 1 3 回 発想を広げる② *タブレット P C 使用 第 1 4 回 意見を書く① *タブレット P C 使用 第 1 5 回 意見を書く② *タブレット P C 使用 第 1 6 回 「プラスチック汚染からは逃げられない」 中嶋亮太 期末試験（第 1 回～第 1 6 回と落合陽一「動」への変化」を試験範囲とする）
後期中間 授業進度	○資料を駆使する ・統計資料を正確に読み取る ・統計資料を組み合わせたり、比較したりして、それを根拠に自分の主張を行う 第 1 回 資料と文章の関係を読む *タブレット P C 使用 第 2 回 小熊英二「「安くておいしい国」の限界」① 第 3 回 小熊英二「「安くておいしい国」の限界」② 第 4 回 小熊英二「「安くておいしい国」の限界」③ 第 5 回 小熊英二「「安くておいしい国」の限界」④ 第 6 回 統計資料をもとに意見を書く *タブレット P C 使用 ○魅力的に伝える ・相手が魅力を感じるように表現を工夫する

	第 7 回 「伝える」の先にあるもの」 ジェーン・スー 第 8 回 工夫して話す① ＊タブレット P C 使用 第 9 回 工夫して話す② ＊タブレット P C 使用 第 1 0 回 工夫して話す③ ＊タブレット P C 使用 第 1 1 回 工夫して話す④ ＊タブレット P C 使用 第 1 2 回 魅力的な紹介文を書く① ＊タブレット P C 使用 第 1 3 回 魅力的な紹介文を書く② ＊タブレット P C 使用 第 1 4 回 『家守綺譚』 評 中間試験（第 1 回～第 1 4 回と吉見俊哉「インターネット時代の音楽産業」を試験範囲とする）
後期期末 授業進度	○情報を比較する ・複数の文章や資料を比較し、考えを深める 第 1 回 文章を比較して読む ＊タブレット P C 使用 第 2 回 高階秀爾「「美しさ」の発見について」① 第 3 回 高階秀爾「「美しさ」の発見について」② 第 4 回 高階秀爾「「美しさ」の発見について」③ 第 5 回 高階秀爾「「美しさ」の発見について」④ 第 6 回 高階秀爾「「美しさ」の発見について」⑤ 第 7 回 高階秀爾「「美しさ」の発見について」⑥ 第 8 回 川畑秀明「脳は美をどう感じるか」 ○他者と交流する ・相手を意識した効果的な表現や手段を考える 第 9 回 鷺田清一「他者を理解するということ」 第 1 0 回 小平奈緒「遠回りの金メダル」 第 1 1 回 目的に沿った質問をする① ＊タブレット P C 使用 第 1 2 回 目的に沿った質問をする② ＊タブレット P C 使用 第 1 3 回 目的に沿った質問をする③ ＊タブレット P C 使用 第 1 4 回 目的に沿った質問をする④ ＊タブレット P C 使用 第 1 5 回 永江朗「インタビューの醍醐味」 第 1 6 回 状況に応じた通信文を書く① ＊タブレット P C 使用 第 1 7 回 状況に応じた通信文を書く② ＊タブレット P C 使用 第 1 8 回 神幸紀・中村好文「パン屋の手紙」 期末試験（第 1 回～第 1 8 回と香山リカ「空気を読む」、平野啓一郎「「個人」から「分人」へ」を試験範囲とする）